



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ 学校教育等と連携したコスモスの種まき ～



1.組織の概要

泊山地区農地等環境保全隊は、愛南町緑地区で活動する組織です。この活動組織は平成4年度から12年度にかけて、県営ほ場整備事業緑地区で整備した田んぼの一部で、平成19年度から交付金活動を開始しており、組織の活動としては、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでいます。



2.コスモスの種まき

この活動組織では、愛南町立緑小学校と連携しコスモスの種まきをしています。この活動は、活動組織設立当初の平成19年度から続けており、児童もとても楽しみにしています。組織の方は、「去年は、どこに種をまいたか分かりにくかった。そのため、今回はコスモスの種と白色の砂を混ぜて目で確認できるように工夫した。私たちも毎回勉強しながら、活動しています」と楽しそうに笑いながら話します。



小学生は、種と砂が入ったバケツを嬉しそうに受け取り、種まきを開始しました。慣れない種まきに苦労する児童もいる中、「僕は、去年やった種まきを体が覚えているから、上手にできた!」と嬉しそう。種まきをした農地は、小学校の真横にあり、児童は綺麗に咲くのをとても楽しみにしているそうです。さらに、楽しみにしているのは児童や地域住民だけではなく、高齢者向け施設からも多くの方が、マイクロバスで訪れるそうです。



なお、この活動は、以下の項目に位置付けて活動をしております。

④植栽等の景観形成活動

⑤啓発・普及活動（一部を抜粋しています。）

3.次の活動に向けて

活動終了後、組織の方は「今年も児童がたくさん種をまいてくれたから、花が咲くのがとても楽しみ。また、来年度はひまわりの植栽にもチャレンジしてみたい」と意気込んでいました。

